

健康管理系機器開発の技術を活かし、医療系機器開発事業に進出

＜企業概要＞

事業者名	株式会社アコース	業種	その他の電機機械器具製造業
所在地	飯田市鼎切石 4376-4	設立年月	平成4年5月
連絡先	電話 0265-53-6571	FAX 0265-53-6573	
	ホームページ URL http://acos.co.jp/		

●私たちの会社（事業所）は

創業以来、歩数計を中心とした健康管理系機器を、OEM（相手先ブランド名での製造）及び ODM（相手先ブランド名での設計及び製造）をメイン事業としています。

当社は健康志向の高まりと共に成長し、現在は本社で研究開発、主に中国の拠点で製造を行っています。



佐々木 邦雄 代表取締役

●事業をはじめたきっかけ

歩数計の開発を主軸として発展してきた当社ですが、近年、スマートフォン等の機能で代替品が現れ、歩数計の市場自体が縮小し、また単価も安くなってきています。

そこで当社は、創業当初からの「医療関係に携わりたい」との思いに加え、これまで培ってきた健康管理系機器の技術を応用できる強みを活かし、高付加価値の医療系機器の開発に取り組むことを決めました。



●独自に取り組んでいる事業、新たに実施したこと

医療の臨床試験等は非常に厳密かつ長期に渡り被験者等の状況を管理しなければなりません。しかし、それには莫大なコストと人員が必要になるため、省力化が求められています。そこで当社の活動量計（装着した人が1日にどのような動きをしていたのかを記録する機器）を医療の分野で使用できるように開発を行いました。

その一つが「スリープモニター」と呼ばれる、1日の活動と睡眠状態を計測し、かつ、データを簡易に収集する活動量計の開発です。

また、「ナノタグ」と呼ばれる小型（2g程度）の活動量計も開発しました。この機器をマウス等実験動



【写真】上：健康管理システム
下左：ナノタグ
下右：スリープモニター

物の体内に埋め込むことで、その行動を容易に把握することができます。

さらに、「MEDLLECT」という医薬品等開発における治験者の薬の摂取状況を自動で記録する機器の開発も行いました。

この他、当社ではハードとソフトの融合についても考えています。活動量計で得られたデータから最適な健康

に関するアドバイスを行う「健康管理システム」も大学教授の監修を受けつつ開発しています。自社ブランドでの展開も視野に入れ、地方自治体や健保組合等が行うヘルスケア事業の一環として提案し、採用を目指していきたいと考えています。



【写真】MEDLLECT

●事業成果

「スリープモニター」は現在、商品化され医療分野だけでなく運輸業のドライバーがきちんと休息を取っているか等の確認に利用されています。

「ナノタグ」は2015年冬から販売を開始し、2016年春にはアメリカにも供給予定です。もともと臨床試験等の需要があり、高性能な代替品もなく、また、買い替え需要も見込める商品の為、販売数が伸びるのではと期待しています。

「MEDLLECT」は2016年より医療品メーカーを通じ本格的に販売を行います。

「健康管理システム」は自治体の健康指導にも採用された実績があります。

●事業を実施しての感想・今後創業等を考えている方へのアドバイスなど

目標を掲げて事業を行うことが会社にとって励みになっていると感じます。また、新しいことにチャレンジされる方には、何事も行動することが大切なので、まずやってみてほしいと思います。

●今後の展望、PR等

これからの健康医療機器はウェアラブル（身に着ける）が主流で、特に腕に着けるタイプが拡大しています。当社も腕で計測できる活動量計等、ニッチ分野への進出を計画しています。

また、健康志向の高まりや国の医療機器産業政策もあり、医療の市場は拡大傾向にあります。当社が持つ活動量計やセンサーの技術を活かし、市場で生まれる様々な需要を取り込み、医療の発展に寄与するとともに、高付加価値製品を国内で生産することも視野に入れ、地域経済の活性化につなげていきたいと考えます。

●支援機関・支援内容

- ◆ 県中小企業振興センター（地域中小企業育成プロジェクト、地域産業活性化基金）
- ◆ 県下伊那地方事務所（経営革新計画承認）